

会 議 録

会議名	第 1 回みよし市文化財保護委員会		記載者	教育行政課 資料館 塚本 弥寿人
期 日	平成 28 年 4 月 26 日（火）		場 所	みよし市役所 3 階 研修室 5
	午前 9 時 25 分～ 10 時 20 分			
出席者	文化財保護委員			教育長 今瀬 良江
	委員	石川 芳秋		教育部長 柴田 圭一
	委員	酒井 孝芳		教育部次長 鈴木 正憲
	委員	原田 重助		事務局 館長 神谷 浩一
	委員	岡本 洋子		副主幹 林 久義
	委員	鈴木 睦子		主任主査 堀 鉦治
				主任主査 嘉見 俊宏
				主任主査 塚本 弥寿人
傍聴者	0 名			
内 容				

午前 9 時 25 分

< 典 礼 >

ただいまより平成 28 年度第 1 回文化財保護委員会を開会します。委員改選の年度、最初の会議でございます。委員長が決まるまでの間、事務局で会議を進めさせていただきます。文化財保護委員会は、みよし市文化財保護条例の各規定に基づき、教育委員会に設置するみよし市附属機関でございます。文化財の保護と活用に関わる重要な事項を審議、決定、文化財保護に対する意見を提出していただくことが、皆さまの役割となっております。委員の任期は 2 年です。資料をめくっていただき、委員名簿をご覧ください。平成 28 年度 29 年度の文化財保護委員は再任 5 名、新任 1 名となっております。なお本日、鈴木昭委員は、都合によりご欠席されております。文化財保護委員会の会議は、みよし市附属機関の設置及び運営に関する要綱に基づき、個人情報に関わる事案の審議以外は、公開することになっておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは教育長より委嘱状を交付させていただきます。

（各委員へ委嘱状交付）

< 典 礼 >

ありがとうございました。ここで教育長よりご挨拶をお願いいたします。

< 教 育 長 >

おはようございます。お忙しいところ第 1 回文化財保護委員会にご出席いただきまして、ありがとうございます。また原田重助様には新しく委員に加わっていただき、大変心強く思います。どうぞよろしくお願いいたします。石川委員はじめ 5 名の皆さまには再任ということで、快くお引き受けいただきありがとうございます。大変心強く思っております。これからも良きアドバイス、良き示唆を与

えていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。文化財保護委員のお役目は、先ほど事務局から申しあげました通り、文化財の保護と活用に関わる重要な事項を審議する機関であるということで、昨年度は委員会より酒井家のあり方についてご意見をいただき、あるいは伊豆原麻谷の掛軸の購入に関してご答申をいただき、ありがとうございます。色々なところでご助言いただき、みよしの文化財が増え、大変感謝いたしております。今年度も会議を2回、研修を3回予定していると考えておりますので、研鑽を積んでいただき、またご助言をいただければと思います。今年度は資料館のリニューアルを計画いたしております。実施設計までできており、今年度は工事ということですので、また進捗状況等をご報告させていただきます。来年の4月にはオープンですので、入館者が増えれば良いかなと思っております。またみよしの良さを伝えるということで、今年度、補助教材の『みよし』の大改訂を行います。みよしの良さが出てくるような内容にしたいと考えております。古窯のことも出てくるかなと思っております。今日はサンライブをご見学していただきます。建物は完成しており、今は図書館の準備が進んでおります。生涯学習につきましては、まだ学習交流センターなどを使っております。7月2日のオープンに上手く間に合えばと思っております。現在少しずつ本が入っている様子を見ていただき、ご見学後に何かご意見がございましたらお聞かせいただければと思います。資料館では春季企画展「館蔵品にみる数のかずかず」が始まりますので、入館者の期待をしております。皆さまのご意見をいただきながら、みよしの文化財保護あるいは文化財の充実が図られますことをお願い申し上げて、ご挨拶とさせていただきます。皆さまよろしくお願いいたします。

<典礼>

ありがとうございます。新任の委員の方もおられ、事務局にも異動がございましたので、ここで委員の皆さまから自己紹介をお願いいたします。

<石川委員>

石川芳秋です。ご覧の通りの老体であります。皆さま方にご迷惑をおかけするかと思いますが、よろしくお願いいたします。

<原田委員>

原田重助と申します。今回新任ということで、ご紹介いただきました。まだ何もわかりませんが、皆さまの足を引っ張らないよう務めさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

<岡本委員>

岡本です。再任をしていただいたのですが、間に合いません。しかし古窯については、全国1、2を争うくらい有名なみよしだと思いますので、もっとPRができれば良いなと思っております。よろしくお願いいたします。

<酒井委員>

酒井孝芳です。よろしくお願いいたします。

<鈴木睦子委員>

鈴木睦子と申します。よろしくお願いいたします。

< 典礼 >

それでは事務局から自己紹介をさせていただきます。

(事務局自己紹介)

< 典礼 >

それでは会務を総理していただく委員長及びその職務代理者を選出させていただきます。はじめに委員長の選出ですが、いかが取り計らったらよろしいでしょうか。

< 岡本委員 >

石川委員に是非委員長をお願いしたいと存じます。

< 典礼 >

石川委員に委員長をお願いしたいというご発声がありました。石川委員に委員長をお願いすることに決してよろしいでしょうか。

< 全委員 >

異議なし。

< 典礼 >

ご異議がないようですので、当委員会の委員長は石川委員に決定いたしました。石川委員は委員長席へご移動をお願いいたします。

(石川委員、委員長席へ移動)

< 典礼 >

それでは続きまして、委員長職務代理者の選出をお願いいたします。いかが取り計らいましょうか。

< 酒井委員 >

岡本委員に引き続きお願いいたします。

< 典礼 >

岡本委員に職務代理をお願いしたいというご発声がありました。岡本委員に委員長職務代理をお願いすることに決してよろしいでしょうか。

< 全委員 >

異議なし。

< 典礼 >

ご異議がないようですので、当委員会の職務代理者は岡本委員に決定いたしました。ここで石川委員長と岡本職務代理者にご挨拶をいただきたいと思います。はじめに石川委員長よりお願いいたします。

< 石川委員長 >

ご無礼します。ご推薦をいただきまして大変恐縮をいたしております。本当を言えば、私も推薦させていただいて、他の方にこの席に座っていただきたい、そんな準備をしていたのですが、その

前に賛成の議決がなされましたので、お受けいたしました。岡本委員とともに、やってまいりますので、よろしくお願いいたします。ご承知のように力足らずの私ですけれど、教育長様をはじめ、部長様、事務方の皆さま方のご指導をいただきながら、そして各委員の方々のご支援をいただいて、なんとかやっていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

<典礼>

ありがとうございました。それでは岡本職務代理、よろしくお願いいたします。

<岡本委員>

失礼します。職務代理者という大変なお役をいただいたのですが、一番適していないのではないかと思います。お恥ずかしいことですが、これは私に対しての叱咤激励、もっと頑張れという意味を含めてかなということで、今後も石川委員長や皆さまにご指導をいただきながら、職務を全うしていきたいと思います。先日京都へ行ったところ、色々な行事をしておりました。着物を着た外国人もいっぱいいました。京都でさえも、企業努力ではないですが、人を集める、アピールするためには、色々な工夫、アイデアが必要なんだなということを、改めて感じてきました。みよしでも、是非皆さん少しでもみよしの良さを知っていただいて、子どもたちが自信を持って住める、そんな街づくりが、この文化財保護でできたら良いなと思っております。よろしくお願いいたします。

<典礼>

ありがとうございます。それでは協議及び報告事項に入りたいと思います。ここからは石川委員長に取り回しをお願いいたします。

<石川委員長>

それでは審議に入ります。ご覧のように鈴木昭委員がご欠席ですが、条例により本日の委員会は成立いたしますので、ただいまから始めたいと思います。議事録の署名ですが、昨年度は委員長がしておりましたが、本年度も委員長がすることとしてよろしいでしょうか。

<全委員>

お願いいたします。

<石川委員長>

ご異議ないようですので、議事録署名は委員長がいたします。ご承知のように、これからの議事にも入っておりますけれど、28年度は資料館のリニューアル、改修がなされるという重要な議題があります。言うなれば、資料館の歴史の中の一つの節目ではないか、そんな中に私どもが関係させていただくというのは、自分史にとっても大変輝かしい1ページを与えてくださるのではないかと、そんな風に感じますので、なお一層、委員の皆さま方のご発言をお願いいたします。それでは議事に入ります。説明をお願いいたします。

<事務局>

それでは資料館事業概要及び事業計画についてご説明いたします。資料は事前に配布しておりますので、かいつまんで説明いたします。資料の2ページをご覧ください。平成28年度組織と事務概要

でございます。昨年と変わった点では、野々山幸生主事が人事異動により会計課に異動、新たに中央図書館より堀鉦治主任主査が配属されました。職員配置につきましては、館長をはじめといたしまして、副主幹1名、主任主査3名、主査2名の体制でございます。また一般非常勤1名、臨時的非常勤9名を含めまして、17名です。下の段の主な事務事業でございますが、本年度につきましても例年通り、資料館管理運営をはじめ、石川家住宅管理運営まで12の事務事業を実施してまいります。3ページは平成28年度の事務分掌でございます。先ほど説明しました17名の事務分担が記載しておりますので、またご参照いただきたいと思います。続きまして4ページ平成28年度資料館事業概要でございます。まず現状と課題です。歴史民俗資料館では、文化財の保護、収集、整理、保存、展示、公開を行っております。資料館及び石川家住宅の入館者向上を図るため、魅力ある展示会やイベントの開催を行ってまいります。2重点事業でございますが、本年度は前回の委員会でもご説明しました資料館展示リニューアル事業でございます。1階常設展示室をリニューアル、また2階の展示室も改修し、次年度4月にオープンしたいと考えております。続きまして3平成28年度主要事業でございます。4ページから6ページまで全11事業記載しておりますが、ほぼ例年通りでございますので、主な事業についてのみご説明いたします。まず5ページの(3)郷土芸能伝承活動発表会の開催についてです。本年度は9月11日(日)に開催する予定ですので、よろしくお願いいたします。それから(7)埋蔵文化財保存事業でございます。緊急の土地開発があった場合の埋蔵文化財の保存、記録作成のため発掘調査を行ってまいります。イ小規模開発発掘調査につきましては、打越町地内で住宅事業者の住宅開発が予定されており、原因者負担の発掘調査となります。それから9資料館展示事業でございます。本年度は展示リニューアルのため、秋季特別展をお休みします。今年度の展示会は記載の通りです。なお土器作り石器作り講座は、例年通り夏休みに開催します。最後に11石川家住宅管理事業です。今年度もイベント等開催し、入館者増進に努めてまいります。以上主要事業でございます。続きまして7ページは平成28年度事務事業計画です。先ほど述べました事業の実施スケジュールでございますので、ご参照ください。以上、説明とさせていただきます。

<委員長>

ただいまの説明の中で、何かご不審なこと、疑問点がございましたらお願いをいたします。事前に資料を配布していただきましたので、皆さま十分目を通していただけたと思います。何と言っても、29年4月オープンに向け、大きな事業が控えております。それも含めて、よろしいですか。

特別にご発言もないようですので、承認ということでよろしいですか。

<全委員>

異議なし。

<委員長>

では承認ということに決しました。では次の説明をお願いいたします。

<事務局>

それでは平成27年度資料館等入館者状況についてご説明いたします。8ページをご覧ください。平

成 27 年度歴史民俗資料館入館者状況総括表でございます。平成 27 年度入館者数は 6,002 名、平成 26 年度は 5,408 名ということで、594 名 111%の増となっております。9 ページは企画展特別展の入館者数の表でございます。上段が 27 年度、下段が 26 年度の実績を掲載させていただいております。中でも夏季企画展の入館者数が 26 年度よりさらに伸び、2,674 名の方にご覧いただきました。また冬季企画展のひな人形展では昨年より 100 名近く増加しており、4 展示会の総合的には増加しております。続きまして 10 ページ平成 27 年度小学校による資料館利用状況でございます。平成 27 年度は三好丘小学校をはじめ 5 校の来館があり、390 名の方に見学いただきました。また講師派遣として天王小学校をはじめ 3 校に職員を派遣して、出張授業を行いました。所蔵資料の貸し出し展示につきましては、三好丘小学校をはじめ 3 校で実施しております。11 ページ平成 27 年度石川家住宅利用状況でございます。石川家住宅では、入館者の増進と歴史や文化財への理解を図るため、各種イベントを行っております。1 歴史体感講座は、ほぼ毎週土日に開催しており、56 種類の講座を 118 回開催、参加者は 884 名でした。2 から 9 までは個別のイベントでございます。内容に NPO と記載があるのは、NPO 法人にイベント委託を行った事業でございます。その他の石川家住宅主催イベントとして街なかギャラリーとひな人形展スタンプラリーを開催しました。展示が主なイベントですので、参加者数がつかめないため、参加者数は記載されておられません。12 ページの利用者主催イベントは、小学校総合学習として黒笹小学校、中部小学校、三吉小学校の 3 校 319 名の方が来ていただきました。七夕茶会は文化協会の主催事業です。257 名の参加がありました。平成 27 年度の石川家住宅の入館者数は 4,612 名でした。一日平均では 26 年度より減少しております。なお 26 年度は 11 月から 3 月までの実績でございます。月別入館者数では、7 月と 2 月の入館者数が伸びております。一番下の一般利用につきましては、このような利用がありましたということで記載しております。最後めくっていただきまして、写真が載っておりますが、石川家住宅のイベントの様子のスナップ写真でございますのでご参照ください。以上、説明とさせていただきます。

<石川委員長>

ありがとうございました。何時の委員会のときでしたか、岡本委員からもっと学校へ PR や参加を求めたらというご発言がございまして、早速教育長さんはじめ、いろいろと方策を考えていただきまして、この表にあるように、3 年生ですから、郷土学習で参観に来られた。しかも出張あるいは民具の貸し出しも積極的にやっていただければ、これは大変良いことだなと、思います。それと石川家住宅も、広報に一覧で出てきます。ところが皆さんお気付きの通り、会場が東蔵ですと、そんなにたくさんは入りませんので、5 名以内ということになる。どうせやるならばもっと大人数でというご意見もあろうかと思いますが、やはり会場で仕方がないと思います。今度 5 月には座敷で琴の演奏があります。前に何時だったか、のぞいて見たことがあります。東蔵の中で、人数は少ないですが、子どもの目が輝いているといいですか、本当に喜んで参加しておりますので、これからもどんどんこの方面、進めていけたらなと思います。委員の皆さま、これを見て何かご意見をお出してください。

<岡本委員>

お願いします。資料館にしても石川家住宅にしても、色々な取り組みをしていただいて、本当に感謝しております。2点ほど質問や意見を出させていただきます。まず1点は、みよし市内にはシニアに大変元気な、ボランティアができる方がたくさんいらっしゃいます。私も90歳の姑と一緒に住んでいるのですが、やはり年齢にはかなわないなというところが一杯あって、色々なことを知っております。是非ボランティア、特にみよし市民のやる気のあるシニア層をもっともっと活用していただいて、資料館にしても、特に石川家住宅のことについては、もっともっと積極的に参加型のイベントなんか行われたら、もっと地域に密着できるのではないかなと思います。今までのボランティアの活用、今後何か考えてみえることがあったらお聞かせ願いたいと思います。もう1点は、例えばひな祭りなどは、私たちも研修に行った際には、立派なひな祭りを見せていただき、色々なところでひな祭りをやっている訳ですけど、ではみよし独自というところがあるかなと。みよし独自のPRの仕方はありますか。先日ひまわりを見ていたら、みよしのひな祭り行ってみたいというPRをしておりましたが、ひまわり、それから広報、何か他にアピールをする手段を何か持って見えるのか、今から考えてみえることがあったら、是非教えていただきたいと思います。

<石川委員長>

ありがとうございました。

<酒井委員>

今、岡本委員が言われたことも確かです。私も教員をやっていて、今は定年しております。以前、三好池の道路の改修で、環境を守れとか、自然破壊だなどという意見も出ましたが、ちょっとピントがずれているかなと思います。今度みよしの子どものたちの副読本が変わるという話があります。私、三好池ができる時から立ち会っておりまして、小学校上がる前でしたが、どういう工法で造っているだとか見ていました。お袋の在所が新屋でしたので、桜も自分で植えました。小学校2年生の3学期でした。どういう状況で変わっていったかと、やはりそういうことを子どもたちにしっかり教えていかなければいけないと思う。道路改修の時に意見を出した方たちは、雑木林をつぶして住居を建てられた方が多い。三好池というのは人工池ですので、今みたいにあんなに木は生えていなかった。桜を僕らが一生懸命植えた後に、ドングリが落ちて、増えてしまった訳で、逆に今、私桜マラソンやっていますけれど、桜が枯れてきている。なんとかあの桜を、みよしのもっと良いシンボルにしたいと思う。桜の三好池なんですけれど、今桜が枯れてきている。ソメイヨシノの寿命は50年ですので、私が植えてからもう60年近く経っています。その辺のことをきちっと答弁できる方がいなかったのではないかなと思っています。あれは人工池だから、自然のものではないのです。それなのに木を切るなどか言われている。あれも一つの文化財だと思います。三好池があって産業が発達してきたという部分もある。だからその辺も、是非今度の改訂に当たってはきちっと入れていただきたい。僕が生涯学習課で皆さんを連れて歩いているときに、前にも申しましたが、なぜ境川なのかということがわからない。引っ越してきた人も地元の人。東郷町とみよし市の境だから境川でなくて、尾張と三河の境川だということを知らない。それから愛知用水。東郷町、日進市、長久手市、愛知用水走っ

ている訳ですが、使う権利がない。なぜみよしにはあるのか。そういうところをきちっと伝えたい。だからこそ、みよしが発展してきているということ、先人たちの先見の明があつてのみよしであつて、愛知用水があつたから企業も誘致できたということが、やっぱり大事だと思う。近代的な文化ですけど、やはりそういうことも知らせてほしいと思う。それにすごい恩恵を受けている。あそこで皆が散策できたり走ったりできることは、親父たちや百姓たちが誘致して、お金を出してあそこに池を造ったからですけど、それを新しく来た方達は誤解しているのではないかなと思う。ものすごく汗水たらした部分があるということを誤解しているのではないかなと思います。それから先ほどひな祭りの話が出ましたが、おこしもんのことについては、資料館でもこの間、石川家住宅でやられました。福田の子ども会でも、子育てクラブと児童館でやっています。そこら中でもやっているといます。ひな祭りとおこしもんが、みよしあたりではセットになっています。そういうことを出張でも良いので、学校にやってもらっても良い。昔からの地域はやっているけれど、北の方はなかなかやっていないと思う。10ページの資料、6校になっているけれど、5校しか名前が出ていない。トータルが間違っている。学校の先生というのは、自分のクラスだけでやるのは嫌いなんです。自信がない。田植えでも2クラス3クラス一緒にやりたがる。だけれど田んぼに2クラス3クラス入るとくちやくちやになってどうしようもない。ボランティア10人付けたら楽にできるけれど、ボランティアが付いても何十人も入るとくちやくちやになる。先生に自信がないんですよ。自分一人で、1クラスだけでやるのに自信がないから、一緒にやりたがる。参考に言いますが、カヌーの体験を三好丘でやったときに、1クラスずつ市のバスで交代でやった。そうすると、運んできて、準備運動やっている間に次のクラスを迎えに行く。準備運動が終わった頃に着くと、準備運動やっていたクラスがカヌーに乗る。次のクラスが準備運動。でまた迎えに行くと、午前中3クラス順番にやれる訳です、ローテーションで。そうすると、すごく良くできるんですよ。皆じっくりやれる。こういう資料館の利用についても、雛形をある程度作ってあげて、こういうことができますよ、市のバスでこういうふうによればできますよということを、考えてあげると良いかなと思う。多分平日は結構市のバスは空いていると思う。こういう風で連れてきて、2クラスや3クラスを時間差で、皆が見ている間に次を迎えに行く、終わったのを送って行くというスケジュールでやれば、資料館もいっぺんにではなくて、1クラスずつきちんと順番に教えられるというやり方をやれるかなと思うので、是非考えてみたらどうかなと思います。アドバイスはします。

<事務局>

貴重なご意見ありがとうございます。岡本委員の先ほどのボランティアについてのご質問及びご意見でございますが、やはり資料館、石川家住宅も含めて、じっくり一人でご覧になりたい方もみえれば、色々と説明を聞きたい方も来られます。それに職員だけでは忙しくて対応できないということもあるかと思います。そういう時のために、ガイドボランティアのような方がみえれば、質問にお答えするということもできるかと思います。募集しておりませんが、いつでも歓迎しておりますので、もしそういう方がおられましたら是非ご紹介いただけたらと思います。資料館の宣伝方法ということで

ございますが、各報道機関ですとか、広報やひまわりに情報提供は行っております。また各小中学校全児童生徒には、チラシを配布している状況です。それ以上の宣伝としては、新聞やテレビといった方法がありますが、なかなか難しく、なんとか新聞に掲載していただけるような情報提供はしていきたいと考えております。

酒井委員のご意見につきましても、今後資料館や出張授業などの参考にさせていただきたいと思います。ご意見ありがとうございました。

<鈴木睦子委員>

質問です。書き方がよくわかりません。10 ページの資料館来館の人数は、学校がバスで来たということですか。

<事務局>

中部小学校以外はバスです。

<鈴木睦子委員>

ひな祭りとか、子どもが興味がある夏の昆虫展とかは、チラシが入るとよく耳にします。子どもたちがこれ行きたいとか。私もお母様方に行ってみてくださいと言うのですが、子どもたちが、ひな祭りのときでも、行ってただ見るだけではなく、ひな祭りの折り紙とか、何かができると良いのではないかなと思いました。ひな祭りについても、その時代を反映していますよね。それについても何か説明があると良いかなと思います。

<事務局>

ひな祭りや他の企画展などでも、やはり何か体験できるようなイベントのようなものを今後も考えてまいります。

<石川委員長>

新しく委員になりました原田委員、どうでしょうか。お父様の原田重之さんは、長く文化財保護委員をやっておみえでした。さらにご先祖はみよしの文化人で、しばしば資料館の企画展でも紹介されています。とにかく高い識見をお持ちですので、ご感想でも良いですので、お願いします。

<原田委員>

委員の方、先生を務められていた方が多いと思うのですが、私はずっと民間で、長く会社勤めでした。しかも転勤で、みよしを離れていた時間も結構長かったものですから、小学校から高校までは良いのですが、それ以後空白がございまして、こちらに戻ってきてからだいぶみよしも変わったなという印象を受けております。少しでも地元のお役に立てればということで、色々なお話があればできるだけ参加させていただくということで今やっております。石川家住宅につきましても、今回こういう資料をいただきまして、開設当初は私も見に行きましたけれど、その後あまり行く機会もなく、参加していないのですが、色々な行事をやっておられるなというのを改めて感じました。特に小学生の方が参加するような行事が、お子さんにとっては、最近友達が集まって遊ぶ機会がないと思いますので、こういった行事が今後も石川家住宅で行われれば、非常に良いのではないかなと思います。色々な季

節ごとの行事がどんどん行われることを期待しております。自分が参加できるものがあれば参加していきたいと思っております。また資料館もなるべく企画展があるたびにお邪魔するようにしていますが、自分の家の中身がまだ整理できていない状態です。色々なものを引っ張り出しては見ているのですが、まだ全てが整理がされていないという状況でして、今後資料館で参考にさせていただけるようなものがあれば、是非またご相談していただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

<石川委員長>

ありがとうございました。これは報告事項ですので、別に採決する必要はありません。各企画展については、広報だとか新聞社だとか、あらゆる手段で PR していただきましたので、以前に比べると入館者はかなり増えてまいりました。それは私の実感です。今度改修されると、完全に2階は企画展ということになりますので、より一層中身も充実したものが展開されると思いますので、ご意見がございましたら、資料館の方へお申し出をいただきたいと思います。今日はこの後にサンライズの見学がありますので、次に入らせていただきます。

その他保護委員会の研修会について説明をお願いします。

<事務局>

平成 28 年度は県内研修といたしまして 7 月 7 日に弥富市周辺、県外研修といたしまして三重県亀山市、その他西三河地方史連絡協議会の大会に参加を予定しております。

<石川委員長>

ありがとうございました。予定されました協議、報告事項は終わりました。

それでは以上で平成 28 年度第 1 回文化財保護委員会を終了いたします。

午前 10 時 20 分